

JST-RISTEX

「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究開発領域 カテゴリーⅡ

平成25年11月21日(木曜日)

領域シンポジウム

「地域再生型環境エネルギーシステム実装のための
の広域公共人材育成・活用システムの形成」

プロジェクト 成果報告

研究代表

白石 克孝

(龍谷大学 政策学部)

復興人材育成塾



- 昨年度までの地域展開により蓄積してきた講師陣リストに基づくカリキュラム設計
- 約80名(のべ392名)を対象とした全6回の座学講義
- 追加講義による個別相談会を通じた、参加者の関与する既往の課題の共有や新規の地域課題の掘り起こし
- 社会人や関東圏外の聴講希望者向けのU-streamを利用した配信およびコンテンツの蓄積、WEB展開の課題検討

第1回 (6/20)	オリエンテーション・開会挨拶 対象地域の現状・概要説明	堀口健治 早稲田大学政治経済学術院教授 岡田久典 RISTEXアドバイザー
第2回 (6/21)	再生可能エネルギーの懸念払拭 地域主体形成事業コーディネート手法	谷口信雄 東京都 環境局 勝瀬典雄 有限会社ビジネスプランニング代表取締役
第3回 (6/28)	再生可能エネルギー導入失敗事例 再生エネルギーファンド	齊藤 純夫 ウィンドコネクト株式会社代表取締役 三木浩 サステナジー株式会社取締役
第4回 (7/5)	エネルギー将来ビジョン 緑の分権改革の推進	堀尾正韜 RISTEX研究開発領域 領域総括 猿渡知之 総務省地域政策課長、緑の分権改革推進室長
第5回 (7/12)	海山連携・6次産業化と地域振興	早田幸 早稲田大学社会科学総合学術院教授 堀口健治
第6回 (7/19)	スマート・コミュニティの設計 高齢化に対応したまちづくり	松岡俊和 北九州市環境局環境モデル都市担当理事 岩科健一 NPO夢追いバンク理事長

再生可能エネルギー塾



再生可能エネルギー塾

環境省プロジェクト「再生可能エネルギーシステム構築のための広域的人材育成・普及システム構築」

■2012年11月12日(月)～12月15日(土)
 ■会場: 麗谷大学深草キャンパス 22号館3階 305教室
 ■定員: 60名 ■申込締切: 11月5日(月)



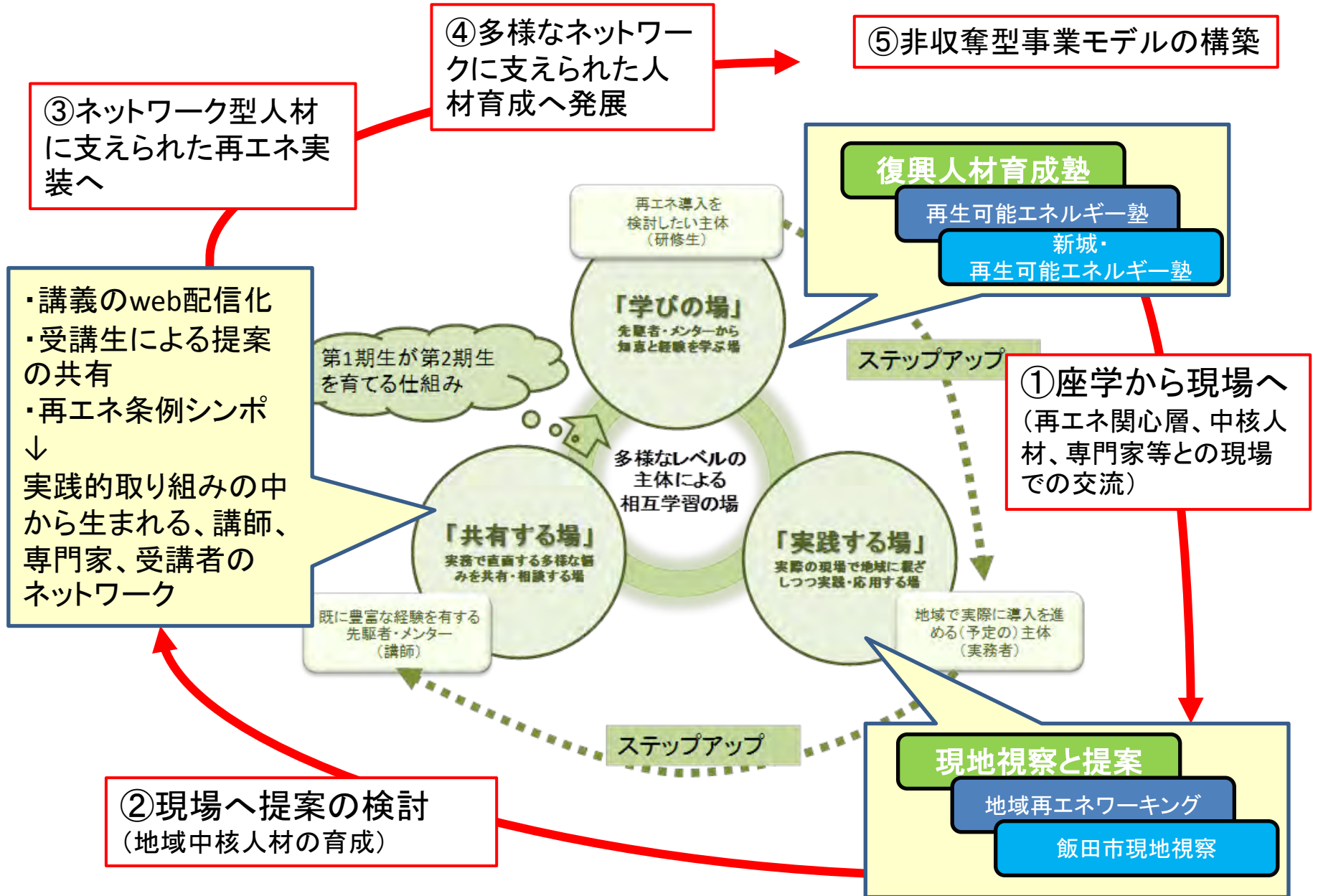
1	11月12日(月) 18:30～20:00 オリエンテーション・開会挨拶 再生可能エネルギーによる「地域の再生」- それを可能にする人材群を創り出す ●講師: 麗谷大学 福原 正樹氏
2	11月19日(月) 18:30～20:00 再エネチームづくりワークショップ(自らの強みに気づき、チームを作るワークショップ) ●講師: 麗谷大学 深尾 昌雄氏
3	11月26日(月) 18:30～20:00 地域の再エネの現状 ある地域を事例にした発電量算定ワークショップ(太陽光・小水力) ●講師: 千歳大学 高上 丈可氏
4	12月10日(月) 18:30～20:00 事業実施に向けたファイナンス 再エネ事業性検討ワークショップ(キャッシュフローなど) ●講師: 特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所(ISEPP) 吉岡 剛氏
5	12月15日(土) 10:00～18:00 (自合休) 再エネ普及と地域資源乱獲防止の両立 ●スピーカー: 澁谷市、新城市、京丹後市 (企業) 聖地と共存する再エネビジネスの方向性 ●スピーカー: 自然電力株式会社 川戸 健司氏 (市民・NPO) 市民・NPO・協会の活動 ●スピーカー: NPO 環境エネルギー-農村家ネットワーク(EENA)/ 鹿丹市エコタウン推進協議会 理事長 戸田 誠氏 ほか
6	11月25日(日) 小水力発電実装ワークショップ in 輝知山(南宮町の山) ※実装の可能性あり

プログラムの特徴

- 11月12日より開始
- 講師による座学と参加者同士のグループワークで再エネプランを考える。
- 再エネのポテンシャル評価からファイナンスに関する知識を習得し、提案能力を高める。
- グループワークで受講者間のネットワークを構築する。
- 小推力の現地視察を行い再エネを実装しようとするフィールドを訪問。

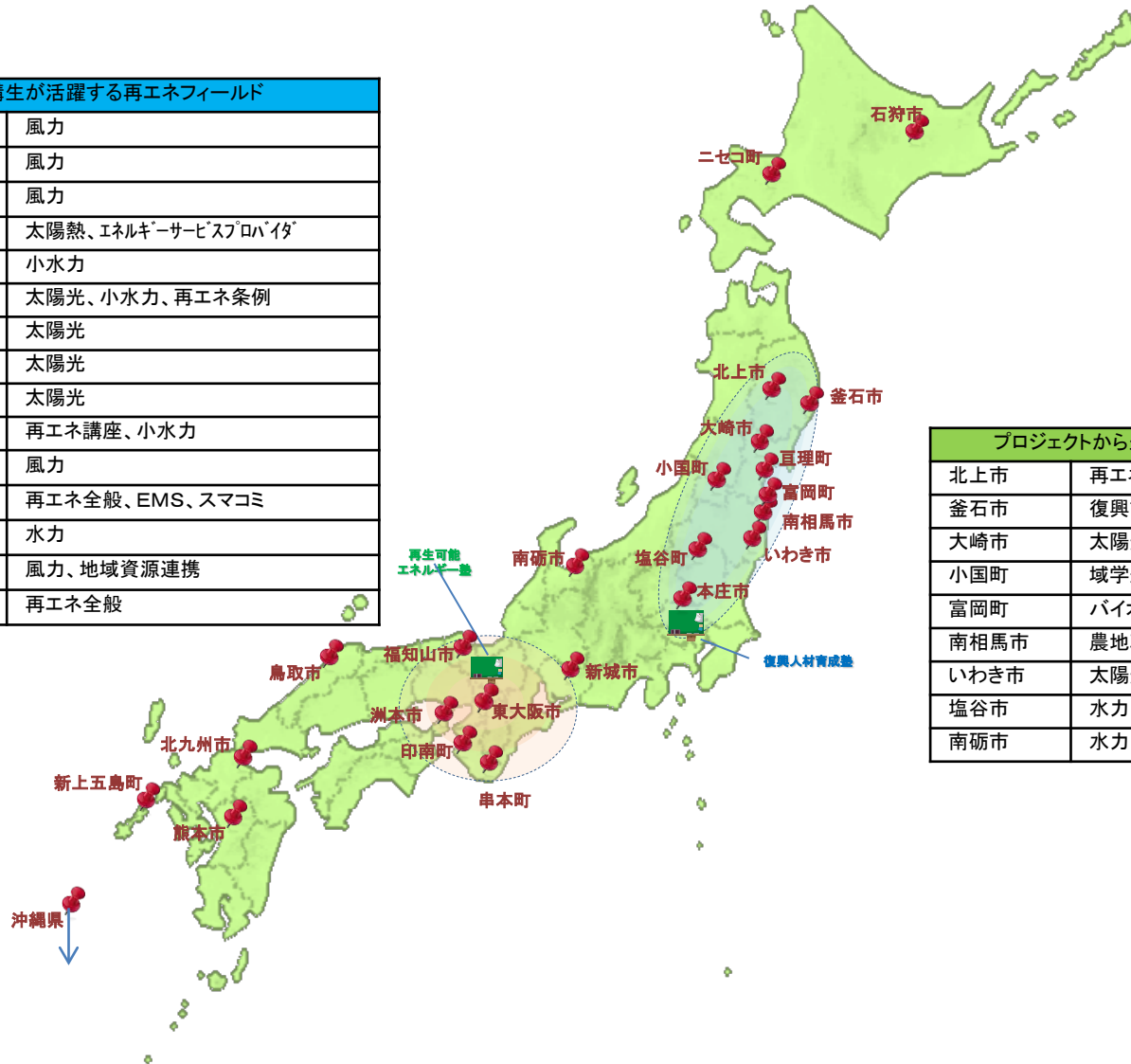


プロジェクト成果⇒人材育成サイクルの確立



成果 人材育成プログラムの有効性:実装に向けた活躍

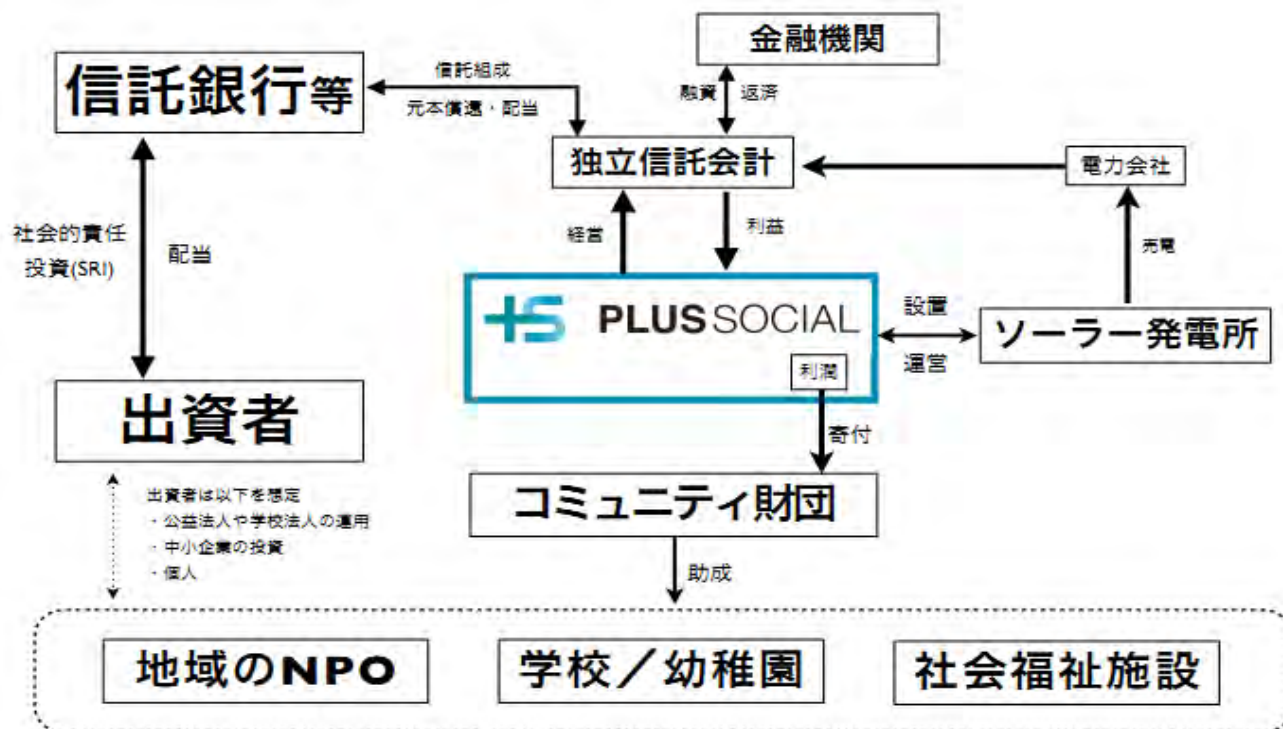
受講生が活躍する再エネフィールド	
石狩市	風力
ニセコ町	風力
亶理町	風力
本庄市	太陽熱、エネルギーサービスプロバイダ
福知山市	小水力
洲本市	太陽光、小水力、再エネ条例
印南町	太陽光
東大阪市	太陽光
串本町	太陽光
新城市	再エネ講座、小水力
鳥取市	風力
北九州市	再エネ全般、EMS、スマコミ
熊本市	水力
新庄五島町	風力、地域資源連携
沖縄県	再エネ全般



プロジェクトから生まれた再エネフィールド	
北上市	再エネに関連した被災地支援ネット
釜石市	復興計画、EMS、スマコミ、小水力
大崎市	太陽光、最エネ講座
小国町	域学連携、水力、バイオマス
富岡町	バイオマス
南相馬市	農地転用、太陽光
いわき市	太陽光
塩谷市	水力、農業連携
南砺市	水力

成果 事業モデルスキーム構築(日本版地域エネルギー組合)

本プロジェクトの研究開発実施者の深尾昌峰と代表の白石克孝は、非営利株式会社(先の商法大改正で会社法人としては可能になった)を設立し、会社の収益を地域組織や市民団体に還元することで、地域貢献型発電事業が可能になるのではないかと考え、事業モデルの構築に取り組んだ。



日本地域政策学会で発表 市民・地域共同発電所全国フォーラム2013で主要テーマに

成果 地域再生可能エネルギー基本条例の制定が広がる

JST-RISTEX

「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究開発領域主催の全国企画での提起を具体化する活動

地域活力創出の制度的インフラとして「地域再生可能エネルギー基本条例」制定する
取り組み普及

「地域でエネルギーをつくるルールづくりシンポジウム」

「再生可能エネルギー塾」

「市民・地域共同発電所全国フォーラム2013」での分科会開催

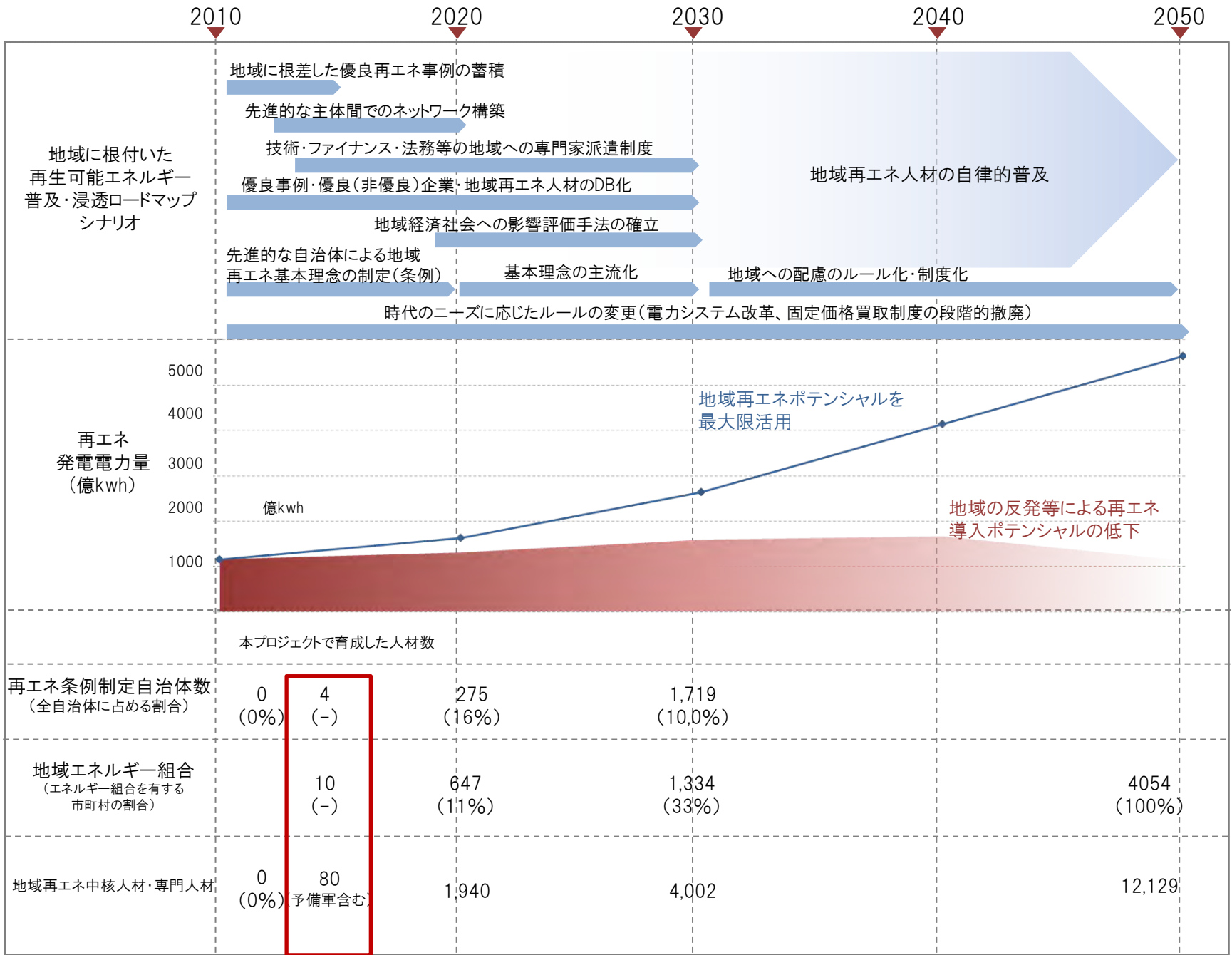
「日本地域政策学会」でのセッション開催

「日本エネルギー学会誌での論文掲載」

地域再生可能エネルギー基本条例を制定した自治体とのネットワーク・交流事業

湖南省、新城市、飯田市、洲本市、多治見市など

ほとんどの制定自治体との研究交流



人材育成による80%マイナスシナリオ